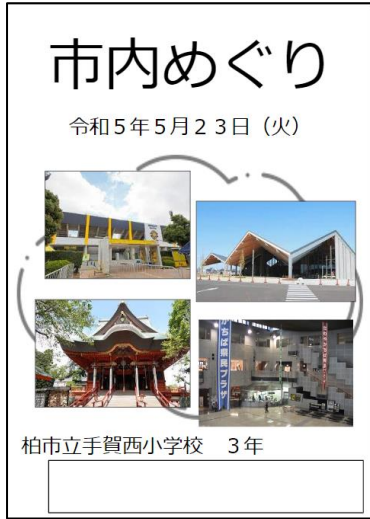


リーディングDXスクール事業【実践事例】

柏市立手賀西小学校（千葉県）

【取組内容①】 社会科見学のしおりをデジタル化で協働編集を可能にし、主体的な参加を促す



7. バスのぎせき

		運転手さん
1		
2	先生	教頭先生
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		先生
10		

- ① 実行委員と共に、白紙のスライドから社会科見学や校外学習のしおりを作成する。
- ② 実行委員を中心にバス座席や班での役割を決め、各自で入力をする。
- ③ 約束やめあてなども話し合い、児童自身が入力をする。

6. はんのやくわり

1はん	はん長	
	ほけん	
	しよくじ	
	きろく	
2はん	はん長	
	ほけん	
	しよくじ	
	きろく	
3はん	はん長	
	ほけん	
	しよくじ	
	きろく	
4はん	はん長	
	ほけん	
	しよくじ	
	きろく	

8. 出発の会 ()
- ① はじめの言葉 ()
 - ② 学習のめあてのかくにん やくそくのかくにん ()
 - ③ 先生の話 (先生)
 - ④ おわりの言葉 ()
9. とうちやくの会 ()
- ① はじめの言葉 ()
 - ② 感想はっぴよう (2人)
 - ③ 先生の話 (先生)
 - ④ おわりの言葉 ()
10. そのほか
- ・ バスの運転手さんやしせつの方に、しっかりとあいさつをしましょう。
 - ・ バスの中ではシートベルトをして、立ったり歩いたりしないようにしましょう。

今までのしおりは担任から渡される物という認識が児童にはあったが、自分たちで作成を行ったことで、「連れて行ってもらう」から「学習のために見に行く」という意識が自然と高まった。お客様から参加者・企画者といった児童主体の活動へと変わった。

データでの配付も容易にできたため、家庭での準備に児童自身が早く取り掛かることができた。